

泉友会

SENYUKAI

泉友会会報 第35号
発行：令和8年5月29日
発行元：泉友会
〒178-0063
東京都練馬区東大泉5-22-1
東京学芸大学附属大泉小学校

vol.
35

Special Interview

56回生

フリーアナウンサー

平井理央さんが
母校訪問！



CONTENTS

- 02 スペシャルインタビュー
平井理央さんが母校訪問！
- 05 富浦臨海報告&臨海スタッフ募集
- 06 同窓会・クラス会報告
- 07 祝20歳 80回生/卒業20周年 67回生
- 08 会長挨拶/校長挨拶/副校長挨拶
- 09 学校近況/きくまつり講演レポート
- 10 インフォメーション
- 11 泉友会トピックス
- 12 大泉しごと箱 vol.01

Special Interview

スペシャルインタビュー

泉友会会報第35号 特別企画



フリーアナウンサー
第56回卒業生
ひらい りお
平井 理央さん

Profile

平井理央 Hirai Rio

1982年東京都生まれ。慶應義塾大学法学部卒業。TVキャスターとしてスポーツ報道に携わり、オリンピックなど国際大会の現地中継を担当。

2013年独立。

2023年にはフローリッシングチョコレートブランド「VIVID CACAO」を立ち上げ、代表を務めている。これまでの取材経験を活かし、コミュニケーションや言葉の力、ウェルネスをテーマにした講演活動も行っている。

著書『楽しく、走る。』（新潮社）

本特別号では、本校卒業生でありフリーアナウンサーとして多方面で活躍されている平井理央さんをお迎えして、スペシャルインタビューをお届けします。

当時担任を務められていた4名の先生方にもご参加頂き、対談形式による座談会が実現しました。教室でのエピソードや当時の印象、そして現在のご活躍に至るまでの歩みを、それぞれの視点から振り返っていただきました。



平井さんに聞く 母校の思い出と仕事のこと

— 久しぶりの母校はいかがでしたか？

小学校の校舎に入ったのは卒業以来です。プールの横や渡り廊下の「学習ホール」を通ってきましたが、そのあたりは変わっていないですね。ただ「オープンスペース」は変わりました。私の時は黄緑色のじゅうたんで、「お別れ音楽会」のオペレッタの配役のオーディションもここでしました。当時は前方に段を上がったステージがあって、そこに座って鍵盤ハーモニカの練習もしていましたね。走り回ったり側転したり、あと行事の前の「学年集会」もこの場所でした。4年生の「富浦遠足」の前の学年集会で、パンツをタオルの中にくるむ「ロールパンツ」の作り方を初めて教わったことも凄く記憶に残っています(笑)。



当時の学習ホール



当時のオープンスペース

— 当時の思い出を他にも教えてください

さっき、「中休みの音楽」が鳴っていましたが、当時と変わっていないんですね！びっくりしました。私は「放送委員会」だったのですが、テープをデッキに挟んで、それを流してアナウンスをして、テープをしまつて仕事が終わる、そんなことをしていました。今はもう「デジタル」ですよ？ さすがに…(笑)。



当時の放送室

— 平井さんはどんな「菊の子」でしたか？

1995年卒業の56回生です。1年はふじ組で、石田(中村)昌子先生が担任でした。

2、3年は父の転勤でインド、当時のボンベイに行き、4年生の時に戻り、さく組で最初は稲森京子先生、途中から梅澤実先生が担任でした。5、6年もさく組、千葉昇先生が担任でした。目の前のことを楽しんだり、練習したり、勉強したり、毎日一所懸命でした。成績は平均的でしたが、何事にも前向きに取り組み、友達と楽しく過ごすことが大好きな子でした。

— アナウンサーとして大活躍されていますが、今の進路を目指したきっかけは？

小学校を卒業して、附属大泉中(当時)、附属高校に進みました。高校2年生までは獣医師になりたいくて、けれど適性を見つめ直し、文転して大学では法学部に入りました。映画が大好きで映像関係の仕事に就きたくて、映画配給会社、テレビ局、広告代理店を志望していた中で、最初にご縁を頂いたのがフジテレビのアナウンス職でした。

— 最近では「チョコレート会社」の起業もされてますよね

フリーアナウンサーになり、様々な現場を経験させていただきました。アナウンサーという仕事は依頼があって成り立つので、入り口がとても受動的で、歳を重ね、「自分から動ける仕事」にも興味が出てきました。そんな中、20年来の友人と食事をしながら「健康や美容にも配慮したチョコレートがあったらな」と私が言ったところ、友人も同じ思いを抱えていて、沢山のご縁が繋がって起業するに至りました。まさにゼロから立ち上げ、自分が動かないと何も始まらない仕事に向き合っています。

※2026年3月5日 小学校の「オープンスペース」にて実施
※過去の写真は1992年(平成4年)発行の学校紹介冊子より

一 平井理央さん x 恩師 4 名が語る 一 あの日の学びと成長の軌跡



「原点は、大泉にあり。」

恩師の方々を交えて「菊の子」時代を振り返る

— 久しぶりの再会! !

平井さん 千葉先生には10年前に同窓会をした時、20歳の時もお会いしましたよね。

千葉先生 おいくつになられたんだっけ?

平井さん 43歳です。先生は当時はおいくつでしたか?

千葉先生 40歳くらいかな?

平井さん 今の私よりも若かったんですね! でも貴様もおありでした。

1年生の時、1学期はずっと緊張してて。中村先生が担任で、女の先生で優しそうだなってほっとしていたら、規律に厳しくて、一気に気が引き締まりました(笑)。



当時の平井さん

— 「ひろめ学習」で身につけた【問題を発見する目】

梅澤先生 「ひろめ学習」もやったんでしょ?

朴木先生 そうそう、「チャボ」飼ってましたよ。

平井さん 当時は動物をたくさん飼ってましたよね? 命の授業みたいなことだったんですか?

中村先生 今の「生活科」というか、小動物を通して色々な体験をする授業だったの。「なぜチャボなの?」って言ったら、犬猫のペットと違って思い通りにならない。それとどう生きていくか、共生するか。お友達も自分の思い通りにはならないということへの理解も進むんですね。

朴木先生 最初は、チャボの観察カードを書かせるじゃない。そうすると4本足だったり、まつげがついてたり。

それが9か月位経つと、「先生、発見したよ!」ってある子が来たの。「チャボの目は、下から上へ瞬きするんだ!」って。これってずっと関わっていないと発見できない。だから「問題を発見する目が出るってこと」。これが「ひろめ学習」なんですよ。



— 6年生への「憧れ」と「行事」にかける熱い思い!

平井さん 「生活団」も思い出深くて、6年生は憧れの存在で、こんな風になりたいってずっと目標でした。

6年生の時の行事は特別な思いで臨んでいました。「日光移動教室」の前に、みんなだらしなくて先生から「こんなんじゃ日光いけないよ!」って怒られて。当時はみんな凄く日光に行きたいわけですよ。「6年生で日光に行かない、オペレッタが無いなんて終わる!」ぐらいな気持ちで生きていたので。

梅澤先生 「オペレッタ」は何やったの?

平井さん 『雪ん子』という題材で、私は「村の子」役でした。セリフに「早口言葉」があったんですが、今でも覚えています。

— 「生き抜く力」をつけていただいたと思っています!

平井さん 「富浦臨海」もよく覚えていて。遠泳に行く前のプールの授業で、梅澤先生が黒いサングラスされていたのが衝撃的でした(笑)。

シャンプーもしてはいけなくて、そう「ロールパンツ」から始まり!

朴木先生 風呂の時間も短かったんだよね。

平井さん しかも先生からは、「お風呂の洗い場から脱衣所に出る時にジャンプしなさい!」って言われて。今思うと軍隊っていう感じでしたね(笑)。

中村先生 脱衣所がびしょびしょにならないでしょ。あれは稲森先生から教えてもらったのよ。

海から帰ってきたらホースで水をかけて、そのまま風呂行ってすぐに出る!

平井さん 大人になってテレビ局に入って、北京五輪に行く機会があつて。「お湯には浸かれないし、水しか出ないかも」って言われたんですが、富浦の経験があつたので、「水が出るんだったら何とかあります!」って言ったら、「凄い強い」みたいなこと言われて。生き抜いていく「筋肉」をつけていただいたなというのは、大泉卒の子はみんな思っていると思います。



千葉昇先生

中村昌子先生

朴木一史先生

梅澤実先生



先生方から教えていただく「大泉の素晴らしさ」とは



千葉先生
56回卒業
アルバムより



梅澤先生

保護者の方々、我々教師を理解し、信頼してくださったことが、わたしたちの教育活動を支えてくれたのだと思っています。富浦臨海、オペレッタ、そしてひろめやフリータイム学習など、様々な教育活動を大泉の文化として受け止めていただきました。そんな環境があったからこそ、教師全員がみなさんの成長に全力で向き合うことができ、その思いを実現できたのだと心から感謝しています。



梅澤先生
45回卒業
アルバムより

千葉先生

大泉の色々な「かけら」が卒業生や教員の心に残っているというのが一番嬉しいことなんです。特に5、6年は子供と向かい合ってムキになってやっていた。その後、大泉で副校長をやらせてもらったもんですから、それを支える先生方を育てることもやりました。働き方改革などもあってこういう教育が出来なくなってきたが、何を大事にしていくかはこれから考えないといけないんじゃないかと思っています。



朴木先生
56回卒業
アルバムより



中村先生

やっぱり「体験」を大事にする「原体験」ですね。知識だけで学ぶのではなく、「自分が成すことから学ぶ」ということ。行事もそう。大泉で培った「成すことから学ぶ」という気持ちをこれからも持ち続けてもらえればと思います。



中村先生
67回卒業
アルバムより

朴木先生

私が一番学びましたね。この学校に来てこうやって子供を育てるんだって。行事を作っていく為には、人の立場に立って考える力がないとダメですからね。あとは「たくましさ」。だから大泉を出た子は活躍している子が多いと思うんです。

在校生の皆さん「菊の子」を存分に楽しんで！

本当に素晴らしい学校だと思います。先生方も一人ひとりに愛を持って向き合って下さっていた。小学校では行事にかける熱量が大きくて、中学、高校、大学は逆に学校生活のカロリーがぐっと下がりました。その分、勉強や部活、課外活動などに「菊の子」で培ったエネルギーを注げました。

社会に出てからも大泉の学校行事の話は興味深く聞いていただけるので、コミュニケーションの一助になりましたし、「菊の子」は社会に出てから強い！大泉は一生の役に立つ自主性を育ててくれる学校です。周りを見ても大泉出身者からは「たくましさ」を感じます。自分らしくのびのびと出来る土台があることは、どんな時も自分を助けてくれると思います。

是非今、この「菊の子」である時間を、親子で思う存分に楽しんで下さい！



編集後記



今企画担当 泉友会会長 岡正博(一番左)
53回生 須川淳太(左から2番目)
広報委員 53回生 高橋亜矢子(右から2番目)
57回生 岡田沙里(一番右)

Another Shot



卒業以来はじめて通る校門



岩石園を懐かしそうに撮影する平井さん

活躍している卒業生をご紹介します！(自薦・他薦OK)

「活躍している卒業生をもっと知ってもらいたい！」そんな思いから実現した今企画。同じ母校を巣立った卒業生の活躍は、在校生にとっても励みになると思います。会報誌では、今後も卒業生の活躍を広く紹介していきたいと思っています！皆様の応募をお待ちしています！

応募フォーム



Tシャツデザインについて

78回生 矢坂 莉那

2025年度のTシャツを作るにあたり、まず「富浦臨海」とは何か、思い返すところから始めました。思い浮かんだのは、海の中を進む大きな隊列で、それは一匹の魚のようでした。

昨年、10年ぶりに富浦に戻り、初めてOGとして5年生女子と参加しました。

1日は早朝から始まり、練習は決して楽しいものではありません。ですが、遠泳でつくる隊列の中で一生懸命泳ぐ子ども達、仲間を鼓舞する子、声をかける先生方やOBOG、浜から

応援する仲間のすべてが富浦臨海を表していました。完泳後の輝かしい子ども達は、遠泳までの日々、仲間との時間があったからこそ成長した姿であると感じました。

私は、そんな富浦臨海でしか生まれない「魚」をTシャツにしたいと思い、製作しました。



富浦臨海に参加して

78回生 本橋 紀子

2025年度は、第3期の臨海に参加いたしました。心に残る素敵な3泊4日をご一緒させていただいた皆さまに心より感謝申し上げます。

5年生の皆さんにとっては初めての臨海で、不安な気持ちもあったことと思いますが、厳しい海の状況の中で一生懸命に泳ぐ姿がとても印象的でした。

私は3日目には中遠泳、4日目には小遠泳と沿岸泳に参加

させていただきました。私自身が5年生の時には、中遠泳と小遠泳に参加することはできませんでしたが、20歳となった今、10年越しに中遠泳と小遠泳を完泳することができたことに、とても感慨深い気持ちがありました。また、閉会式の時には、先生方からサプライズで完泳賞をいただきました。児童一人ひとりに気を配りご多忙の中、卒業生にまでお心遣いをいただき、大泉小の温かさを改めて感じました。

富浦臨海報告

80回生 折井 万里子

私は初めて富浦臨海生活にOGとして参加しました。正直、小学生時代に経験した富浦臨海の記憶は薄れていましたが、OGとして再び富浦を訪れると、寮からの景色や海の匂い、そして遠泳に挑戦する胸の高鳴りが鮮明に蘇ってきました。

また、小学生の時には知ることができなかった、子どもたちが楽しさや苦しさを共に経験しながら全力で遠泳に挑戦する姿の美しさを実感しました。特に、6年男子の大遠泳が津波の影響で中止となった際、生徒たちは落ち込むことなく、自分た

ちでできることを探し、俺たちの引き上げセレモニーを作り上げた瞬間には、心を打たれるものがありました。

あの頃の私には見えなかった富浦臨海の美しさや、その中で得られる経験がどれほど貴重なものであるかを改めて実感することができました。さらに、子どもたちが互いに支え合いながら成長していく姿に、教える側としても大きな学びを得ました。富浦臨海はただの体験学習の場ではなく、心を育む貴重な場所だと思いました。

ただいま。じぶん。
ただいま。とみうら。
2026年夏、富浦臨海生活 OBOG 募集



LINE オープンチャットに参加して
富浦臨海生活の最新情報を手に入れよう。

卒業以来 53 回生同窓会 2025/2/8 幹事：佐藤、須川、高橋（山本）、柳原（平山）文子

「せっかく今年、久しぶりに再会できたし、話が尽きなかったし、忘年会か新年会、しませんか」

私のLINEに残された、2024年11月上旬の仲間の投稿です。プロジェクトは、ここから本格的に始動しました。6月の「ホームカミングデー」で、このメンバーがたまたま再会し、緩くつながったことが伏線です。最終的に120人中43人が集まりました。

さらに、1・6年生の時の先生方にも声をおかけし、新藤先生、中村（石田）先生、永田先生、伊藤先生、橋本忠明先生、田郷岡先生、梅澤先生にお越しいただきました。

そして当日。顔がわかるか…?との懸念はありました。が、あつという間に、あちこちで話の輪が。さまざまな立場になれど、菊の校章のもとでは30数年前の「菊の子」そのものでした。先生方からも「みんなの顔を見ると、知識だけでなく、体験、人との関わりを大事にした大泉の教えが正しかった」という嬉しいお話をいただきました。

今回、連絡先不明の人も学年の3分の1と多く、個別のつながりのほか、SNS、葉書など「ハイブリッド」の形で呼びかけました。次回は節目の50歳となる5年後、あたりでしょうか？声かけ方法も要検討かもしれません。ただ、それまでの間、輪を広げるとともに、先生方に「成長したな」と思ってもらえるよう、過ごしたいと思います。

追記：当日は、5人の方にお手伝いいただきました。ありがとうございました。（文責：須川）



69 回生 6ふじクラス会

幹事 酒井 壮太郎

2025年12月21日、新宿にて、第69回生6年ふじ組の同窓会を開催しました。本同窓会は、30歳という節目を迎えるにあたり企画されたものです。当日は2次会まで含めて18名が集まり、当時担任の志賀先生にも出席いただきました。会では、前回集まった時から現在までの出来事について、それぞれが順に近況を報告する時間が設けられました。結婚した人や出産を経験し子育てに励んでいる人、仕事を頑張っている人など、それぞれの歩みが共有されました。また、自身で立ち上げたブランドのシャンプーを先生に手渡す場面や、ドミニカ共和国からビデオ通話で参加する人もあり、遠方にながら同じ時間を過ごすことができました。

志賀先生からも現在の生活や近況についてお話いただき、参加者が静かに耳を傾ける時間となりました。先生から当時の様子について、裏話を含めお話を伺う場面もあり、終始、楽しい会となりました。集まってくれた皆様ありがとうございました。



78 回生 きく組クラス会

幹事 根津 更

2025年3月15日、78回生きく組のクラス会を行いました。かねてよりのリクエストに応え、成人式を機に企画いたしました。20名の参加に加え、元担任の菊地先生にも御出席いただき、20歳の節目を祝福していただくことができました。

菊地先生を交え、皆が慣れ親しんだ大泉学園で8年ぶりの再会となりました。自己紹介と近況をひとりひとり発表したあとは、小学校のころの思い出話をはじめ、8年分の積もる話やこれからの目標や志について、話に花を咲かせました。

当時小学生だった私たちがお酒を飲める年齢になり、菊地先生とともにお酒を酌み交わすことができるようになったことがとても新鮮で感慨深いものがありました。

残念ながら旅行や留学などで参加できなかった人もいましたが、今回のクラス会をきっかけにまた気軽に集まることができれば大変うれしく思います。



祝20歳 80回生



80回生担任の先生方

80回生の皆さん

元6年うめ組担任 吉原 茂

第80回卒業生の皆さん、お元気ですか。20歳の節目、おめでとうございます。みなさん、立派になられていることでしょうか。みなさんは、私にとって特別に思い出深い学年でした。それは、最高学年となった6年生のとき、附属大泉小学校が創立80周年を迎えまして周年行事を皆さんと一緒に創り、全校でお祝いをしたという思いが強いからです。みなさん、どんなことをしたか覚えていますか。また、オペレッタでは、「Songs For You」を上演しましたね。本当に心温まる素晴らしい作品でした。

こからも、夢を追い続け、充実した日々を送ってください。みなさんをいつまでも、いつまでも、全力応援し続けます。

ずっとずっと忘れない♪

元6年きく組担任 早川 聡

80回卒業生の皆さん、おめでとうございます。私は、皆さんの小学校入学と同じ年に大泉小学校に着任し、皆さんと過ごした日々は、今でも私にとってかけがえのない宝物です。国語の授業で「もしも物語の続きがあったら…」と問いかけましたね。今、その続きは皆さん一人一人の人生の中で紡がれています。夢に向かって進んでいる人。新しい道を探している人。迷いながら一歩ずつ前に進んでいる人。そのすべてが皆さん自身の物語です。

そして、皆さんと同じ時間を過ごし、成長を温かく見守っていた堀口先生のこと思い出してほしいと思います。堀口先生もきっと今も皆さんの歩みを見守り、「ずっとずっと忘れない♪」とっておられることでしょう。

大泉小に帰ってくる時は、「久しぶり」ではなく「ただいま」と言って帰ってきてくださいね。

80回生に贈るメッセージ

元6年ゆり組担任 久保 幸恵

20歳の歳を迎えられること、本当におめでとうございます。私は、みなさんが6年生の時にゆり組を担当していました。私の娘も同じく20歳となることもあり、折に触れてみなさんのことを思い出しています。中でも、卒業パレードの時のみなさんの輝くような笑顔が今でも忘れられません。

さて、大人になったみなさんに私がいつも心に留めている言葉をお贈りして、お祝いの言葉にかえさせていただきます。

Where there's a will, there's a way.
「意志あるところに、道は開ける」

今を生きる

6年時学年主任 橋本 和顕

第67回卒業生の皆さん、お久しぶりです。卒業20周年という節目の年を迎えました。

一言、お祝いを申し上げます。

今、私の手元には、皆さんが取り組んだ、オペレッタのパンフレットがあります。『大地の中の小さな仲間』— The Circle Of Life いのちのつながり—

そう、卒業間近のお別れ音楽会で、学年一丸となって取り組んだ、あのオペレッタ上演から、20年ということになります。小学校生活のすべてを注ぎ込んだ大作です。

「自分がいいならOKじゃん」「ストーリーテラーの歌」「森の輝き」「小さなぼくら」「戦いの曲」「主題歌 いのちをつなぐ」…これら劇中挿入歌の数々が、輝いています。

先生方のページも、小さくありました。心をつなげる一森口真規子、みんなのオペレッター佐藤善人、今できること

を一小野恭子、歌がいのち一橋本和顕、ともに創り上げる一三大寺敏雄、オペレッタ劇場へ一原 信一。我々、先生たちにとっても、たくさんの願いや思いの詰まった、大切な思い出です。

皆さんは、30代として、社会で活躍され、精一杯、日々の生活を送っていることと思います。また、時には、壁を感じながらも乗り越えようと、頑張っていることでしょう。

誰かの支えになっているか、小学校時代の主題歌の中に、生きるヒントが見つかるかもしれません。いつまでも応援しています。どうぞ、お元気で。

／いまを生きる私にできること／精一杯しよう／さあいのちの花を咲かせよう／これからを生きる あなたのために／

卒業 20周年 67回生

泉友会活動報告

泉友会 会長 岡 正博



泉友会会員の皆さま、関係者の皆さまには、益々お元気でご活躍の事と存じ上げます。また日頃は泉友会の活動にご理解と多大なご協力をいただき厚く御礼申し上げます。

昨年度は、7回生の籠島延隆様のご協力で運動会用のテントを12張寄贈しました。今年の運動会から使われます。きくまつりに行われる卒業生から在校生への講演は、47回生の峰崎揚右さんにお話しいただきました。2025年は幹事会を12月に行いましたが中高生の期末試験と日程が重なったことから若い世代の参加者が減ってしまいましたので、2026年は10月10日に行う事にしました。

泉友会広報委員会では新メンバーが加わり、新たな取り組みとして「活躍している卒業生」の特集を企

画しました。表紙のデザインも一新しました。広報委員会に新加入の80回生の緒方理桜さんにご協力いただき、表紙を刷新しました。

富浦臨海委員会にも新メンバーを迎え、2026年度のスタッフ募集やサポート体制の充実を図ります。

総務委員会では新入会員や卒業生への案内や記念品の検討を進めています。2029年に行う予定のホームカミングデーの計画も開始します。90周年に向けて様々な企画立案を進めて参ります。委員として一緒に動いていただける方も募集していますのでご連絡をお待ち致しております。

泉友会は会員の皆さまからの会費で運営されていますので会費のお振込みにご協力くださいますようお願い申し上げます。

学校の近況

学校長 青山 直志



廊下は走らない!

早いもので、昨年4月1日の東京学芸大学での辞令交付後、緊張した面持ちで附属大泉小学校の門をくぐってから、もう1年が経とうとしています(令和8年2月現在)。職員室は教務室、職員会議は教員会など、ものの呼び方が違うことに戸惑うこともありましたが、学校が抱える課題には共通したものがあることが次第に分かってきました。

1学期から子供たちに話したのは「廊下は走らない!」ということです。私の長い教職人生の中で、重大な事故が起こったことがあります。互いに走って

た子供同士が廊下の曲がり角で出会いがしらに衝突。ひとりは前歯を折り、もうひとりは額に裂傷、ふたりとも大量出血で、救急搬送しました。

そんな経験を本校の子供たちに言って聞かせるのですが、なかなか改善が見られません。3学期になった今も、その指導は継続中で、落ち着いた生活、しっとりとした雰囲気为学校内に醸成されればと思います。

泉友会の皆様も来校された折には「廊下は走らない!」と叱っていただければ幸いです。

「菊の園」の近況について

副校長 細井 宏一



泉友会の皆様には、様々な面で本校の教育・研究活動にご支援をいただいております。心より感謝申し上げます。

2026年度、本校は開校88周年を迎えました。学校では夏の猛暑対策が課題の一つですが、ようやく体育館に空調・エアコン設備の設置が決まりました。今年(令和8年)9月~12月に工事予定です。来年は、夏でも体育館での教育活動ができるようになる見込です。

また、9月の運動会も暑さ対策が必要で、トラック周りにテントを設置して日陰をつくることを構想しておりました。そうしましたところ、泉友会の皆様からご支援をいただき、12張のテントをご寄贈いただきました。この秋から早速活用させていただきます。本当にありがとうございます。

7月の臨海学校では、OBOGの方々が水泳指導補助員として大活躍してくれています。水泳指導補

助、道具準備だけでなく、泳ぎに気持ちの面で不安がある児童への心のサポートもしてくれています。自分が泳いだ経験をもっているOBOGの言葉は児童にとっても響き、勇気を与えてくれます。今年度も臨海学校指導補助スタッフを募集中です。

また、臨海学校で宿泊する富浦寮ですが、8月中旬に、一般開放をしています。新しくなった富浦寮に、卒業生の皆様にも是非お越しいただき、宿泊利用をしていただければと思っています。今後、インターネット上で、申し込みができるようにする予定です。

卒業生の皆さんで、同窓会などで本校にお越しいただくときには、是非お声掛けくださればと思います。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

施設の老朽化は進んでいます。また、なかなか国から大学を通して教育環境を整備する資金が来ない状況です。学校の教育活動へのご寄付も合わせてお願い申し上げます。

きくまつり

2025年11月8日

「開校を祝う会」 卒業生からのお話

講演内容のご紹介

小・中学校時代をここ大泉の地で過ごした峰崎さん。当時の写真や通知表を子どもたちに見せてくださり会場が盛り上がるなか、ご自身を決して成績上位ではなかったとお話され、子どもたちが驚く場面も。しかし、峰崎さんは中学3年生の時に「高校ではスポーツで日本一を目指したい」という大きな目標を抱きます。周囲が驚く中、“合格を信じる”という強い信念を貫き、大学受験不要の難関校である早稲田大学高等学院への進学を見事に果たしました。

念願のアメフト部に入学した峰崎さんは、“信は力なり”という言葉に胸に、泥だらけになりながら練習に明け暮れる日々を送ります。そして高校3年の12月、ついに日本一を決める舞台「クリスマスボウル」へと駒を進めます。東京ドームで行われた決勝戦は、一進一退の攻防の末、41-42で惜しくも全国準優勝。しかし、この時に仲間と共に限界まで挑んだ経験が、後の人生の大きな支えになったと仰います。

大学卒業後、幼少期からの「パイロット」という夢には届かなかったとのことですが、峰崎さんはここで立ち止まりませんでした。アメリカ留学中に目にしたIT企業の爆発的な成長に衝撃を受け、これからはITの時代だと確信します。また、お父様からの「経営者になれ」という言葉を胸に、新卒で世界第2位のソフトウェア会社に入社。しかしその後、敢えて変化の激しいベンチャー企業へ転職されました。

いくつかの会社で経験を積む中で、時には社長と意見がぶつかり、壁に当たることも。そんな苦い経験から峰崎さんが学んだのは、「人は変えられない。変えられるのは自分と未来だけ。」という哲学です。困難に直面したとき、「なぜできないのか」と悩むのではなく、「どうしたら解決できるか?」という質問に置き換えることで、脳をフル回転させて道を切り拓いてきました。「人が他人を受け入れられないのは、自分の経験からくる『わがまま』が邪魔をしているから。素直な心を持つことで、組織も自分も成長できる」というお話しに、特に高学年の児童たちは真剣な表情で頷いていました。

最後に、母校の後輩たちへ「大切なのは、変えられるものに集中して、大きな目標を持つこと。そして今、隣にいるお友達を一生の宝物にしてほしい」と温かい言葉を贈られました。講演後、40年ぶりに味わう「きくの子汁」の温かさに、峰崎さんも当時のご自分を思い出し、懐かしさに目を細めていらっしゃいました。



▲きくの子時代の峰崎さん



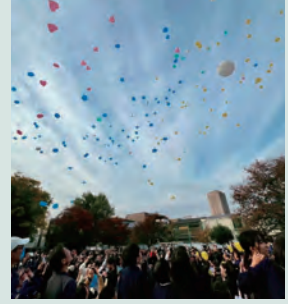
みねざき ようすけ
峰崎 揚右さん
(47回生/1986年卒)

プロフィール

早稲田大学・オハイオ州立大学を卒業後、新卒で日本オラクル入社。その後、ベンチャー企業数社を経て「株式会社パブレア」を設立。代表取締役として、プライダグ業界に特化した事業効率化・マーケティングシステム「パッとプライダグ」を展開。現在は最新のAI技術をサービスに統合し、業界のDXを牽引している。五反田にオフィスを構え、一児の父としても奮闘中。



▲講演の様子



▲きくまつりの様子

2025年度 学校行事



入学式



和楽会



富浦臨海



運動会



きくまつり



4年富浦移動教室



5年箱根移動教室



6年日光移動教室



音楽会・オペレッタ



卒業式・卒業パレード

同窓会支援制度

泉友会では同期会・クラス会の開催支援を行っています。開催が決まりましたら泉友会にご連絡をください。

【支援内容】

- ① **最新住所録の提供(幹事さんから要請)**
 - ・該当学年またはクラスの「最新住所録」を提供
 - ・宛名シールを作成し幹事さんに送付
 - ※会員住所等が新たに判明した場合や、訂正があった場合は幹事さんから泉友会へ連絡
- ② **開催費補助(対象人数の40%以上の参加が条件)**
 - ・同期会：会費納入人数×1,000円が基本額に満たない場合は基本額を補助する
同期会基本額：該当クラス数×10,000円
 - ・クラス会：会費納入人数×1,000円が基本額に満たない場合は基本額を補助する
クラス会基本額：1クラス10,000円

【支援条件】

- (終了後、泉友会に提出)
- ① **会報・ホームページ等に掲載する同期会・クラス会開催報告文**(400字程度)
 - ② **出席者の集合写真1枚**(参加人数が確認できるもの)
 - ③ **補助金の振込先**
(銀行名、支店名、口座種類、口座名義人、フリガナ)

※上記①②③の到着確認後に「開催費補助」を指定口座に振込みます
※この支援の利用は5年に1回とさせていただきます
※2023年12月9日の臨時総会で会則改定が承認されましたので支援金額を変更しています

会費納入のお願い

- 泉友会では5年に一度、年会費を集めさせて頂いております。
*「年会費」は5年分一括で8,000円(1,600円/年)
*1~35回生の方は、「終身会費」16,000円も選択できます
- 2024年4月から新たな5年間(2024年度~2028年度)に入っています。新しい年度の始まりに当たり、多くの方からのご入金をお待ちしております。
- **77回生**は卒業から10年分の年会費を収めて頂いていますが、昨年度で満了しましたので、**今年度から77回生の方々も年会費を納入**していただくことになります。
- 2024年4月より、入学時または転入時の入会となりました。在校生のみならず入会金納入にご協力よろしくお願ひいたします。

振込先

郵便振替

00110-4-131668
(加入者名)東京学芸大学附属大泉小学校泉友会
※同封の取扱払込票でお振込み頂けます。

銀行振込

三井住友銀行 大泉支店 普通預金 7148285
(口座名)泉友会会費口

※振込む際は、**お名前の前に会員番号を必ずご記入**ください。
会員番号未記載の場合、振り込んだ方を特定できない場合があります
※**会員番号は会報送付の封筒宛名に記載**しております
(会員番号が分からない場合は、生年月日を西暦でご記入ください)

連絡先変更・ボランティア登録・イベント参加希望・その他

- **会員名簿記載事項に変更があった場合、泉友会にお届けいただくための書式です。**
※同窓会の縦のつながりを強くするために勤務先登録にご協力ください。
- **ボランティア人材登録** 該当するボランティアに登録申請できます。
- **イベント案内希望** 興味のあるイベントを選択された方には詳細をご連絡します。
- **会報の感想をお寄せください。**
※「連絡先変更・ボランティア登録・イベント参加希望」は返信用封筒に切手を貼って返信いただくか、各種申請フォームから申請することも可能です。

各種申請フォーム

Googleアカウントでのログインは不要です。
異動や変更のあった場合には該当項目に入力、送信することで郵送する時間を省くことが出来ます。 <https://forms.gle/tBjBRqvctzFwDLJBA>



各種申請・応募
フォーム

幹事会のお知らせ

日時：2026年10月10日(土)
受付：13時より教職員玄関内
幹事会：13時30分~16時
会場：附属大泉小学校2階ランチルーム

※2026年8月頃に幹事さん宛に案内を送付予定

親睦ゴルフ会開催について

日程：2026年11月22日(日)
場所：西武園ゴルフ場
定員：先着16名まで

参加希望の方は泉友会にメールまたは各種申請フォームでお申し込みください。



各種申請・応募
フォーム

「大泉しごと箱」掲載について

卒業生のお店や会社、お仕事を紹介する企画です。掲載をご希望の方は応募フォームに入力してください。掲載させて頂く際は改めてこちらからご連絡いたします。

<https://forms.gle/qzxx-dT5kit6r7SpF9>



しごと箱
応募フォーム

ホームページが新しくなりました

トップページにお知らせコーナーを設けました。各委員会からのお知らせをタイムリーに掲載します。是非ご覧ください。過去の泉友会ホームページも見られます。

<https://senyukai.com/>



泉友会
ホームページ

制服がリニューアルされました!

2023年度までの制服



大泉の伝統と機能性の向上を両立させた新制服。統一感を保ちつつバリエーションを増やし、現代のニーズに対応する形で工夫しながら作られました。

2024年度から導入された制服

(※現在は、新旧制服のどちらも着用可)

冬服



洗濯ができるストレッチ素材になり付け襟がなくなりました



男子冬服は寒さ対策用「長ズボン」も誕生



女子冬服もハイソックスやタイツの着用が可に

ワンピースのベルトは長さ調節可能なバックル式に

夏服



半ズボンの丈が少し長くなりました

胸元や裾には校章マーク



夏はオプションで学校指定の

- ・ポロシャツ
- ・チェック柄ズボン
- ・チェック柄キュロットの着用もOK!



ポロシャツは3色から選べます♪

学校にテントを寄贈しました

7回生の籠島延隆さんから、「卒業80周年なので学校に何か贈りたい」と、ご連絡をいただき、学校に打診したところ運動会で使うテントが欲しいとの事でした。籠島さんからの資金提供で若干不足する分を泉友会で補填して12張のテント

を購入して学校に贈りました。2026年度の運動会で初披露となります。次の会報に掲載したいと思います。籠島さん、有難うございました。

「親睦ゴルフ会」を開催しました!

泉友会の親睦ゴルフ会を2025年11月23日(日・祝)に、西武園ゴルフ場で開催しました。24回生から66回生の総勢12名が集いました。参加者全員が楽しめるよう初心者にも優しい泉友会特別ルールを適用し、強風が吹く厳しい条件の中でも、和気あいあいとゴルフを楽しみました。プレー後は大泉学園に移動して表彰式と懇親会を行いました。ペリア方式でハンディキャップを算出し、優勝は37回生の岡部道明さん。自己ベストスコアをたたき出してベストグロス賞も獲得。準優勝は47回生の峰崎揚右さん。表彰式は世代を越えて和やかに盛り上がり、親睦を深める素晴らしい会となりました。ご参加いただきました皆様、ありがとうございました。2026年は11月22日(日)に開催しますので、ご参加をお待ちしております。



慶事



2026年度に満年齢で迎える長寿祝い

- | | |
|---------------------|---------------------|
| 卒寿(満90歳) 第10回生のみなさま | 喜寿(満77歳) 第23回生のみなさま |
| 米寿(満88歳) 第12回生のみなさま | 古希(満70歳) 第30回生のみなさま |
| 傘寿(満80歳) 第20回生のみなさま | 還暦(満60歳) 第40回生のみなさま |

弔事

謹んでお悔やみ申し上げます

山崎 憲 先生
長谷川 正 先生

大泉 しごと箱

Oizumi
Professional

vol.
01

牛スジぶっかけうどん

53回生 高木 努

卒業生が手がけるお店や会社を紹介します。
そこに込めた想いや仕事へのこだわりに迫ります。

コロナ禍で「医療従事者」に

無償で届けた1,233杯

所沢から大泉小学校に通った私は、たまの外食で連れていってもらえる「地域うどんチェーン」、「給食のソフト麺」で身体を大きくしました。30代になり、沢山のひとと直に触れる飲食の世界で、接する中でもらえる「ありがとう」に喜びを感じるようになった私は、初めて訪れた香川で食べた讃岐うどんに衝撃を受け、修業を経てお店を開業しました。開店当初、「お店に来るお客さんやスタッフが元気になれる場所を作る」と掲げた私の夢は、「地域のパワースポットを作る」となり、今は「人の心、



店主の高木さん

緑、運を開ける場所を作る」と表現を変えています。

そんな中で忘れられないのは、コロナ禍が始まった頃の2020年。お店のメインターゲットである近所の大病院の医療従事者がパタリと来な

くなりました。顔も名前も、そして好きなうどんの種類も知っている彼らが、世界の不安を全て背負い、医療の最前線で命懸けで頑張っている事を知り、クラウドファンディングを実施。71日間をかけ、1,233食のうどんやお弁当を提供しました。



医療従事者からのサンクスフォート

その時のうどんがこの「牛スジぶっかけうどん」です。

大泉小学校では「ひろめ」「深め」の学習や様々な行事を通して、「こんな風になれば」「私も出来るようになりたい」と感じる事が多くありました。その体験が今の仕事につながっていると思い感謝しています。

Information

卒業生の皆さんの
「お店」や「会社」を募集中!

ご自身のお店や会社、お仕事を
紹介しませんか。そこにかける
想いや歩みをご紹介します。

応募フォーム
はこちらから



53回生 高木努さんのお店はこちら!

麴町おうどん開



東京都千代田区麴町3-4-1
麴町3丁目 B.L. D102
03-6265-6925
平日 11:00 ~ 15:00 / 18:00 ~ 22:30
土日祝 11:00 ~ 15:00 / 17:00 ~ 21:30
日曜

讃岐のおうどん花は咲く 新宿戸山店



東京都新宿区新宿7-3-36
戸山センチュリー 105
03-6273-8798
11:00 ~ 15:00
17:00 ~ 22:00
不定休

Limited service

「大泉卒業生」
限定サービス

「大泉卒業生」と伝えれば
ワンドリンクサービス!

期間限定
2027年3月末まで

ご来店時にお名前とご連絡
先が分かるもの(名刺など)
をご提示ください

お知らせ 会員からの同窓会協力のための「協賛有料スペース」新設を検討します

泉友会では、財務体質改善強化の一助とするため、この「泉友会会報」紙面上に、個人・法人名で掲載できる「有料スペース」を設けることの検討を始めます。

会員数減少に加え、昨今の郵便料金をはじめとする物価上昇などを
受け、前回の会報から

- 当期および前期の年会費納入者にもみ郵送
- 当期および前期の年会費未納の方にはホームページでご覧いただく
- 幹事会のお知らせもメールを基本とする

などの自助努力は重ねておりますが、新しい収入源として、良識ある広告掲載を目指します。そのための、掲載決定に至るまでの条件整備など必要事項について広く検討します。

掲載内容の審査基準・期間・サイズ・料金・レイアウト・応募方法など決まり次第、まずホームページやFacebookなどの公式SNS上でお知らせします。

なお、別途ホームページ上での「バナー有料スペース」なども検討していく所存です。



泉友会
ホームページ